

事業計画書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

公益財団法人四万十市西土佐農業公社

1 新規就農者育成のための研修事業

目的：地域社会の新たな担い手となる新規就農者の確保・育成をして、若者の定住促進による山間地域の農村社会の健全な発展に寄与すること。

事業内容：(年度途中からの研修受入も対応する)

(1) 栽培技術の習得

研修修了後の就農に向けた品目(米ナス・四万十春蕾等)を主にして、次項2の栽培品目での各種栽培研修を行う。

(2) 就農支援

ア 篤農家現地研修(米ナス等)

イ 農業機械研修 トラクター操作・管理機操作等

ウ 巡回指導 振興センター・J A巡回指導

エ 意見交換会 その日の反省と明日の研修検討会(次週の研修予定)

(3) 就農支援(支援チーム)

ア 農業基礎講座、簿記記帳学習会

(ア) 就農計画書の作成

(イ) 土づくり、病害虫の防除

(ウ) 農薬の適正使用

(エ) 制度資金

(オ) J A組織運営

(カ) 経営管理

イ 就農支援チーム協議

(ア) 就農計画の作成

(イ) 資金利用計画

(ウ) 営農計画の作成

(エ) 事業導入計画

(4) 研修修了後の支援

農業基盤を斡旋し、研修担当者が実践的な指導をすることで農業者としての早期自立と経営の安定化を図る。

(5) 短期農業研修の実施

新規就農や移住促進に結びつける為の短期農業研修者の受入を行う。

2 新規作物等試作支援事業

目的：有望品目の試作や新技術の試験研究を行い、普及可能な品目や技術が見つければ、生産現場への普及を行うとともに、生産者のリスク低減を図り、産地提案品目の安定生産と所得の拡大に繋げる。

財源：試験栽培品目の売上代金と市からの実験農場等委託料を充当する。

事業内容 (各項目とも振興センター・J Aと連携)

(1) 雨除け米ナス栽培の生産技術研究

ア 簡易雨除け設備を活用した収量増大につながる試験研究(施設構造試験)

イ 収量・品質向上を目的とした盛夏期の高温対策試験(遮熱資材活用等)

ウ 天敵昆虫導入による農薬低減と品質向上への取組み

- (2) 冬期有望換金作物として、四万十春蕾の栽培技術向上と生産規模拡大への普及推進
- (3) ハウストマトの環境制御技術の習得と収量向上
 - ア 環境測定装置を活かした栽培技術の向上
 - イ 高温障害対策（高温期における樹勢・着果数維持の為の肥培管理）
- (4) 栗再生に向けた橘地区栗園委託管理
 - 産地の栗再生を目的とした、平場での栗栽培における肥培管理・剪定・樹園管理技術等を研究し地域への普及推進
- (5) その他の取り組み
 - ア 加工用葉ワサビ・ナバナ・四万十春蕾等を公社育苗ハウスにて育苗し生産者へ苗の供給
 - イ 乗用草刈機・移植機利用拡大（レンタル貸付）による労力軽減や規模拡大による農家所得の安定化への取り組み（樹園管理、ナバナ移植作業等）
 - ウ その他新作物の情報収集と栽培実証試験

3 水稻育苗事業

目的：農業従事者の高齢化が進む中、大きな負担となっている育苗作業の軽減をする。また、早生苗については硬化苗（田植が即できる状態）まで育苗することで冬作へ向けた水田二毛作（ナバナ・四万十春蕾等）の推進を図る。さらに、安定的に供給することで地域の水田の保全と安定生産に繋げること。

財源：農家への水稻苗代金売上を充当する。

事業内容

(1) 早生苗の育苗（硬化苗での供給）	コシヒカリ	3,800 枚
	飼料米	500 枚
(2) 中生苗の育苗（緑化苗での供給）	ヒノヒカリ	13,500 枚
	サイワイモチ	350 枚
	吟の夢	710 枚
	米粉用米	300 枚
(3) 中生品種（にこまる）の育苗・・・		440 枚
(プロジェクト大宮社中特裁米取り組みへの連携)		
		<u>合計 19,600 箱</u>

4 その他

- (1) 地産地消・地産外商の取り組み
 - 道の駅出荷販売に向けた品目試作研究等
- (2) その他法人の目的を達成するために必要な事業